

「安倍総理は新自由主義者なんですか？」

●ぐりさんからの質問

私は西田先生の著書「政論」「政論2」を拝読し本当に目から鱗。このように物事を大局的に捕らえ、素晴らしく先を見据える事が出来、だからこそブレる事の無い政治家がまだ日本にもいたのか！と感動し、そして「この人ならば・・・」と、人間として西田昌司を尊敬し、政治家として西田昌司を支持してまいりました。故に、直接的に安倍総理支持と言うよりむしろ「西田昌司支持」から安倍総理、自民党を信じて微力ながら出来る限り支持してまいりました。が・・・西田議員と真逆の新自由主義的なお考えをお持ちであるならば正直、これから今までのように手放しに、そして素直に応援する気になれないというのが本音であります。

●西田昌司の答え

この方は「新自由主義的な方々が安倍総理のブレーンをされているようだが、大丈夫なのか？」というご心配をされていますが、私たちも実は心配をしています。自民党にも世間にも、いろいろな考えの方がいます。いろいろな方がブレーンになるのも仕方のないことです。しかし今の段階では安倍政権が新自由主義的な政策を行うとは決まっていません。アベノミクスといわれるデフレ脱却政策（金融緩和、財政出動、成長戦略）に問題はないと思います。安倍総理は民主党政権がもたらしたひどい状況を引き継いで舵取りをしています。第一にデフレ脱却が必要ですが、他にも国防・安全保障等の問題も抱えています。これらの課題について全てが私たちの期待する方向に解決するとは限りません。私も安倍政権が間違った方向に行けば批判をしますし、正しい方向であれば応援をします。皆さん方をお願いしたいことは「長い目で見守る」ことです。

「安倍総理を応援していたのに、この点が納得いかないからもう応援できない」という話を耳にします。しかし安倍総理も様々な問題に対して一人では対応できません。いろいろな方に協力してもらう必要があります。それらの中には私たちと考えの異なる方ももちろん居られますが、この方々とも上手くやっていかなければなりません。民主党政権よりも安倍政権の方が良いとほとんどの方が思っておられますし、それが支持率にも表れています。また、石破茂さんや石原伸晃さんではなく、安倍さんが総理になって良かったと思われている方も多いと思います。せっかく安倍総理が誕生したのですから、多少納得のいかないことがあっても長い目で見てもらいたいのです。私たちも安倍総理をバックアップして、間違った方向に行かないようにきちんと監視しながら応援します。

安倍総理が誕生したら全ての問題が解決する、と期待されますが、そうはなりません。たとえ西田昌司が総理大臣になったとしても同じことです。例えば憲法の問題にしても、日本人は戦後の占領体制の象徴である現憲法が正しいものだと思い込ませられています。このような体制の中で50～60年も教育されて、2～3代にも渡ってしまうと、物事が見えない人が沢山と出てきます。たとえ一人の素晴らしいリーダーが出たとしても、なかなか簡単には前に進みません。進むべき方向に向かいつつも、左右にぶれたり、時には後退することもあるでしょう。私たちもそういうものだと思って見なければなりません。

私が週刊西田で情報発信するのは、正しい世論を醸成する為です。正しい情報、正しい考え方を知らせることで世論が変わります。そうなると安倍総理がもっと違う形で政策を実現できる土台を作れます。そのような土台がない今の時期に総理になられましたから、様々な齟齬が生じます。ある程度は仕方ないと思って応援をせねばなりません。いろいろなご心配やご批判もあるかとは思いますが、長い目で見守っていただきたいし、私もそのような気持ちで安倍総理をしっかりと支えていきたいと思っています。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>